

全校朝会「調べる学習コンクール」12/4

12月になりました。寒さに負けず、体力向上週間、中休みに元気に走っていますね。今日からは読書旬間が始まります。図書館に先生クイズが展示されています。この機会に、沢山の本を読んでください。

さて、11月の[音楽会](#)では、素晴らしい演奏を発表することができましたね。みなさんの生き生きとした演奏と、楽しそうな雰囲気がとても素敵でした。

そして、実はその日の午後には、アキシマエンシスで「[図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ](#)」の表彰式がありました。夏休みに取り組んで作品の中から、富士見丘小学校のみなさんが12人も表彰されました。来年も取り組んでいきますので、今日は、その表彰式で校長先生がお話をした内容をお伝えします。

「こんにちは。受賞おめでとうございます。審査員を代表して、2つお話をします。

1つ目は、お勉強のお話です。受賞された皆さんは、お勉強は得意ですか？ 保護者の皆様は「うちの子は、こういうのは得意だけど、お勉強はちょっと…」なんて思っていないですか？（中略）

イメージしている学力とは、ちょっと違うかも知れませんが、確かな学力とは、ドリルやテストの点数では測れない部分です。そのもっと先を目指しています。（中略）目指すべき学力は世界で役に立つ力、未来の世界で圧倒的に役に立つ力ということです。

今日、受賞されたみなさんは、その高い学力に、一番近い所にいます。それはなぜか？ それが2つ目のお話になります。

今回、審査をされていて、受賞されたみなさんに共通していることがあります。2つお話をします。

1点目は、身近な生活の中で「なぜだろう」「不思議だなあ」という、素朴だけれど、実は大人も気付いていない、鋭い疑問から始まっていることです。

テレビで芦田愛菜さんが出ている「博士ちゃん」という番組を知っていますか？ その博士ちゃんたちは、いつも、専門家の方々がたじろいてしまうような鋭い質問をしていますね。この「問い」が大事です。みなさんのテーマも「追求できる深さがある問い」ばかりでした。

2点目は、その自分の問いにして「こうかな」「ああかな」と、予想することから始めて、自分がどのようなことを、どのように調べたいのか、自由な発想で、様々な調べ方をして、深めていることです。

具体的には、まず図書館に行って話を聞いたり、たくさん本を並べて調べたりしています。そして、本で調べたことをもとに、そこからスタートして、実験や観察をしたり、インタビューをしたり、様々な手立てで、多様な情報の中から解決策を見い出しています。

そして、自分なりの納得解を見つけた後に、もう一度図書館に行って、自分の考えに間違いはないか、もっと他の視点がないかなど、本に戻って確かめています。

さらに最後に、自分が何を、どのように学んだか、どんなときにどう感じたのか、どのような発見や学びがあったのか、振り返って、自分にとってどんな意味や価値があったのかをしっかりとまとめています。凄いです。

本当に素晴らしい作品ばかりです。ぜひ、この学びを続けて、これからの未来を築く人になってください。」
難しい内容でしたが、担任の先生とお話をしてください。